

自己評価報告書

平成23年 4月25日現在

機関番号：32605

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008 ～ 2011

課題番号：20520713

研究課題名（和文） 東アラブ諸国におけるマイクロファイナンスの実態と
そのインパクトに関する比較研究研究課題名（英文） Comparative Study on Microfinance in the Middle Eastern
Arab Countries and Their Impacts

研究代表者

鷹木 恵子 (TAKAKI KEIKO)

桜美林大学・人文学系・教授

研究者番号：60211330

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文化人類学・民俗学

キーワード：マイクロファイナンス、中東北アフリカ、貧困削減、雇用創出、ジェンダー開発

1. 研究計画の概要：

(1) 北アフリカ・マグリブ諸国でのこれまでのマイクロクレジット(以下MCと記す)の研究を踏まえ、それを基に東アラブ・中東諸国での貧困削減政策として、マイクロファイナンス(以下MFと記す)まで視野に入れて比較考察を行うものである。

(2) MFを中東北アフリカの社会・文化・政治・経済的状況も踏まえつつ、文化人類学的に考察するために民族誌的研究も続行する。

2. 研究の進捗状況

(1) 初年度にはエジプトでカイロに本部があるアラブ諸国MF機関連合 SANABEL で情報収集を行い、またアレキサンドリアの民間MF機関 ABA を対象にフィールド調査を実施した。エジプトには政府主導でのMFプログラムが存在しないが、民間MF機関ではチュニジアやモロッコのNGOなどのMC/MFと類似したプログラムが実施されており、かなりの成果を挙げていることが確認されたほか、キリスト教のコプト教徒の民間MF機関も存在し、その機関が宗教宗派を問わずに融資をしている実態なども明らかになった。2010年度にはU.A.E.とトルコにおいて調査を行った。特にトルコは中所得国でまたEU加盟をも目差している国であるが、自由主義経済のグローバル化のなかで貧富の格差が広がりつつあり、NGOのMAYAやトルコのグラミン・プログラム(TGMP)が特に東部の低所得地域で広く活動しており、返済率も9割を超えるという良い成果を挙げていることが明らかになった。トルコの事例は、中所得国においてもMC/MFの有効性を証明するものとして重要な意義をもつと考える。

(2) 方法論としては、文化人類学的フィールド

での参与観察と、実務者とMFの受益者を対象とした聞き取りの手法を主として採用した。

(3) 参加した会議としては、初年度にはインドネシアで開催されたMCサミット、2010年度には中東アフリカ地域のMCサミット(ケニア開催)に参加して情報を行った。またこれらの調査研究の成果の一部は2008年度の末にはマレーシアで開催されたイスラーム地域研究の国際会議において、また2009年度の夏にはアルジェリアでの国際会議において報告した。その他、国内では東京外国語大学やオリエントクラブなどでの研究会で報告し、また日本のJICA主催の外国人研修生などを対象とした講演会でも報告を行った。

3. 現在までの達成度

③やや遅れている。

理由としては、文化人類学では現地調査が極めて重要であるが、当初、レバノン・イエメンで予定していた現地調査が政情不安のために断念するとなり、何度も調査予定を変更せざるを得なかったこと。また文科省の方針で各学期15週間の授業が実施されるようになり、実際に現地調査のために出張できる日程自体を作り出すことがスケジュール的に極めて困難になってきていること、さらに年齢的に学内業務の他に、複数の学会の理事や評議員、編集委員などの職務が増え、科研の研究調査以外の仕事に大きな時間が取られていることなどによる。

4. 今後の研究の推進方策

現地調査をした内容についてはできるだけ、活字にして公表できるように努めたい。現在、

中東北アフリカ諸国では民主化革命や運動が起こり、歴史的な転換期とも捉えられる激動のなかにあるため、そうした現実の動向も踏まえつつ、本研究を進めていきたい。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 3 件)

- ①鷹木恵子 「チュニジア・ジャスミン革命とその広がりゆく影響」『アフリカ』vol. 51. 2011 年 (印刷中) 査読無
- ②鷹木恵子 「チュニジア革命所感」『地中海学会月報』7 頁, No. 338, 2011 年。(印刷中) 査読無
- ③鷹木恵子 「マイクロクレジットを受けて働くアラブ人の女性と男性」『地中海学会月報』表紙と 6 頁, No. 315, 2008 年。査読無

[学会発表] (計 12 件) うち国際会議 5 件

- ①鷹木恵子 「マイクロクレジットと貧困削減 - マグリブ諸国の事例を中心に」 オリエンタクラブ主催・講演会 (於: 国際文化会館) 2010 年 11 月 26 日。
- ②Keiko TAKAKI, “Microcrédit aux pays arabes et le développement communautaire” 札幌 JICA 主催 アフリカ仏語圏出身研修生向け講演 (於: 藤女子大学) 2010 年 11 月 15 日。
- ③Keiko TAKAKI, “Ecumenism and Transnational Movement in Islam: A Peacebuilding Strategy of the Sufi Tariqa al-Alawiyya”. International Symposium: Blurring Boundaries, (於: 大阪大学大学院人間科学研究科 GCOE) 2010 年 3 月 13 日。
- ④Keiko TAKAKI, “L’ éthique dans la mondialisation: l’ économie et la repartition des richesses, le Microcrédit”. Conference internationale du Centenaire de Tariqa al-Alaouia, (at Mostaganem University, Algeria), 28, August 2009.
- ⑤Keiko TAKAKI, “Microcredit and Development in the MENA Region” IAS-AEI International Conference: New Horizons in Islamic Area Studies. (at Nikko Hotel Kuala Lumpur in Malaysia), 28, November, 2008.

[図書] (計 7 件)

- ①鷹木恵子編著『チュニジアを知るための 60 章』明石書店、2010 年、総ページ数 380 頁。(共著者: 宮治一雄、宮治美恵子、私市正年、栗田伸子他)。このうち 23 章分と 3 コ

ラムを担当。

- ②鷹木恵子監修訳 ザヒヤ・スマイル・サルヒー編『中東北アフリカにおけるジェンダーとその多様性』明石書店 (共訳者: 大川真由子、宇野陽子、今堀恵美他)、印刷中。
- ③『アルジェリアを知るための 62 章』明石書店、2009 年、総ページ数 382 頁。(編者: 私市正年、共著者: 小山田紀子、福田邦夫、吉田敦他) 鷹木恵子 37 章「市民社会と NGO」218-222 頁、同 38 章「フェミニズム運動と家族法論争」223-227 頁。
- ④鷹木恵子監修訳 サム・デイリー・ハリス著『マイクロクレジットの現状 - サミット・キャンペーン・レポート』日本リザルツ 2008 年 総ページ数 72 頁。
- ⑤『沙漠の事典』日本沙漠学会編、丸善、総ページ 256 頁、(共著者: 小島紀徳、縄田浩志、梅村坦他) 鷹木恵子 「沙漠の景観 オアシス」38-39 頁、同「沙漠の生活 貧困・開発・女性」91 頁。